

ユマニチュード

①ユマニチュード（人間らしさ）とは

- ① フランスのイヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティが考案した「人間らしさ」に重点を置いた認知症ケアの技術である。
- ② フランスでは認知症の治療に関して、薬に頼るのではなく、患者に対する包括的なケアすなわち患者との会話やコミュニケーションを通して、認知機能の回復を図ろうとする。
- ③ 医師と患者お互いの人間性を回復することが、ユマニチュードの哲学&ゴール。
患者さんからの信頼を得て、患者さんとの人間関係を良くしていくことが患者を良くすることになる。
- ④ 人間は他の人間から人間であると認識されないと生きていけない。
だから医師は患者に対して、「私はあなたが人間であると分かっていますよ。あなたは私と同じ価値を持つ存在なのですよ。」と伝える。
- ⑤ 認知症の患者は相手が優しい人かどうかを知性で判断することが難しくなっている。
しかし感情の機能は最後をむかえる日まで働いている。
だからユマニチュードではその感情に「優しさ」を訴える。
「私はあなたの友人ですよ。仲間ですよ。」と認知症の人に感じてもらうために「見る」「話す」「触れる」という行為を通じて「優しさ」をうまく伝える。
- ⑥ ユマニチュードは認知症患者と医師だけに限った技術ではなく、人間が生きて行くのに必要な哲学を含んでいる。